

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社UBIC 上場取引所 東
 コード番号 2158 URL http://www.ubic.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守本 正宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 石井 静太郎 (TEL) 03(5463)6344
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,095	△11.2	△272	—	△355	—	△274	—
25年3月期第2四半期	2,361	△12.2	709	△50.4	539	△61.2	321	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △292百万円(—%) 25年3月期第2四半期 319百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△81 58	—
25年3月期第2四半期	102 92	98 74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,849	3,784	74.4
25年3月期	4,755	3,195	64.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,607百万円 25年3月期 3,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	50 00	50 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,400 ～4,800	△6.0 ～△2.6	△255 ～100	—	△360 ～0	—	△275 ～△50	—	△81 58 △14 83

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	3,441,136株	25年3月期	3,193,136株
26年3月期2Q	56株	25年3月期	56株
26年3月期2Q	3,370,719株	25年3月期2Q	3,123,953株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、新政権による経済対策や日本銀行による金融政策の推進を背景とした円高の是正及び株価の上昇により、景況回復・企業収益回復の兆しが見え始めた一方で、欧州政府債務危機等による海外経済の停滞や、中国を含む新興国の景気減速など、先行き不透明な状況が続いております。今後、日本企業のグローバルレベルでの競争や事業展開が一層加速すると見られ、アジアにおける当社の顧客にとっても“いかに世界レベルでの競合に勝つか”は共通の課題であり、これはクロスボーダーでの厳しい企業競争を意味し、国際訴訟に巻き込まれるリスクを常に内包しております。そのため、当社グループが果たす役割の重要度が増してきていると言えます。

このような状況のもと、当社グループの主要事業であるeディスカバリ(証拠開示)支援サービス市場はデータ量の飛躍的拡大とも相まって成長を続けております。当社グループでは、成長を先取りすべく、将来のニーズを満たす技術開発及び設備投資を行いました。また、5月に米国ナスダック上場を果たしたのち、8月に上場セレモニーをニューヨークで行いました。その後は、日本国内のテレビ番組や有力新聞、更に雑誌や日米のメディアに取り上げられる頻度が増加するなどの広告効果が徐々に現れてきております。

当第2四半期連結累計期間においては、韓国企業からの売上が前年同四半期と比べ大幅に伸びているものの、見込んでいたカルテル案件や知財案件のディスカバリ作業開始時期の延期、和解等による作業の消滅及び大型案件が獲得できていないことにより、主力であるeディスカバリ事業の売上高が1,888,828千円(前年同四半期比14.7%減)となりました。

リーガル/コンプライアンスプロフェッショナルサービス事業は、情報化社会のさらなる進展により、企業内や周辺での情報漏えいや不正の増加、また警察当局や行政当局からのフォレンジック・ツールへの技術的仕様の高度化を伴う要請により、引き合いが増加傾向にあり、日本語対応を含め当社の技術的優位性や実績が新規受注に寄与し、順調に売上を伸ばす事が出来ました。この結果、リーガル/コンプライアンスプロフェッショナルサービス事業の売上高は183,553千円(前年同四半期比28.6%増)となりました。

その他の事業の売上高は、23,520千円(前年同四半期比532.1%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,095,901千円(前年同四半期比11.2%減)となりました。

損益につきましては、eディスカバリ事業の減収の影響、自社開発の電子証拠開示支援システム「Lit i View」(リット・アイ・ビュー)の継続的機能強化、データセンター設備の増強及び計画的な人材の採用による大型案件の継続受注に対応するための体制作りを進めた結果、営業損失272,683千円(前年同四半期709,220千円の営業利益)となりました。また、円安による為替差益が発生したものの、一時的な支出として米国ナスダック上場関連費用120,872千円等により経常損失355,782千円(前年同四半期539,390千円の経常利益)となり、そして四半期純損失274,984千円(前年同四半期321,512千円の四半期純利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて93,720千円増加し、4,849,690千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて82,571千円増加し、2,848,979千円となりました。これは主に現金及び預金の増加35,902千円、繰延税金資産の増加124,801千円、受取手形及び売掛金の減少84,083千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて11,148千円増加し、2,000,711千円となりました。これは主にソフトウェアの増加52,581千円、工具・器具及び備品の減少37,693千円によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べて495,573千円減少し、1,065,391千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて413,239千円減少し、616,337千円となりました。これは主に未払金の減少199,165千円、未払法人税等の減少132,063千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて82,333千円減少し、449,053千円となりました。これは主に長期借入金の減少87,499千円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて589,293千円増加し、3,784,299千円となりました。これは主に、米国ナスダック上場に伴う資本金及び資本剰余金の増加984,730千円、利益剰余金の減少434,638千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,227,786千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、その主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は、186,032千円(前年同四半期比123,789千円の増加)となりました。これは主に、法人税等の支払額の減少等の減少要因がある一方で、税金等調整前四半期純損失の計上、未払金の減少等の増加要因があることにより、支出額の増加となったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は367,298千円(前年同四半期比302,765千円の減少)となりました。これは主に有形・無形固定資産の取得による支出339,272千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は552,779千円(前年同四半期比205,382千円の増加)となりました。これは主に株式の発行による収入984,730千円、配当金の支払による支出159,654千円、株式公開費用の支払による支出173,196千円によるものであります。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

8月の米国ナスダック上場セレモニー以降におけるメディア等を通じてのブランディングの効果は徐々に浸透しつつあるものの、当連結累計期間までに見込んでいた案件の延期や、和解等により案件自体が消滅したこと及び大型の新規案件が獲得できていない影響を織り込み、平成25年5月15日に公表いたしました平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年11月13日）公表しております「平成26年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成25年5月15日発表)	5,500 ～6,000	1,050 ～1,240	970 ～1,130	570 ～670	178円51銭 ～209円83銭
今回修正予想 (B)	4,400 ～4,800	△255 ～100	△360 ～0	△275 ～△50	△81円58銭 ～△14円83銭
増減額 (B - A)	△1,100 ～△1,200	△1,305 ～△1,140	△1,330 ～△1,130	△845 ～△720	△260円09銭 ～△224円66銭
増減率 (%)	△20.0 ～△20.0	△124.3 ～△91.9	△137.1 ～△100.0	△148.2 ～△107.5	△145.7 ～△107.1
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	4,679	920	872	500	158円45銭

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、従来、年度決算と同様の方法で計算を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

この変更は、当第1四半期における米国ナスダック上場によって多様化した財務諸表利用者及びそのニーズに対応する有用な情報を迅速に提供するために行ったものです。

当該会計処理の変更は遡及適用され、前年四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の少数株主損益調整前四半期純利益は10,384千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,006	1,335,908
受取手形及び売掛金	1,170,614	1,086,531
商品	235	1,091
貯蔵品	1,969	5,337
繰延税金資産	53,632	178,434
その他	239,950	241,676
流動資産合計	2,766,407	2,848,979
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	76,456	72,169
工具、器具及び備品(純額)	672,783	635,090
その他	—	10,774
有形固定資産合計	749,239	718,034
無形固定資産		
ソフトウェア	741,833	794,415
その他	96,170	103,791
無形固定資産合計	838,004	898,207
投資その他の資産		
投資有価証券	266,864	226,814
差入保証金	99,081	128,713
その他	36,372	28,940
投資その他の資産合計	402,318	384,469
固定資産合計	1,989,562	2,000,711
資産合計	4,755,970	4,849,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,960	62,051
1年内返済予定の長期借入金	184,999	174,999
未払金	424,218	225,052
未払法人税等	138,806	6,743
賞与引当金	78,695	79,656
その他	120,897	67,833
流動負債合計	1,029,577	616,337
固定負債		
長期借入金	437,500	350,000
繰延税金負債	56,449	46,800
退職給付引当金	10,909	18,556
資産除去債務	17,356	17,464
その他	9,172	16,232
固定負債合計	531,387	449,053
負債合計	1,560,964	1,065,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,993	1,095,358
資本剰余金	390,453	882,818
利益剰余金	1,924,512	1,489,873
自己株式	△26	△26
株主資本合計	2,917,932	3,468,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,209	115,432
為替換算調整勘定	17,303	23,812
その他の包括利益累計額合計	158,512	139,245
新株予約権	102,051	158,309
少数株主持分	16,508	18,719
純資産合計	3,195,005	3,784,299
負債純資産合計	4,755,970	4,849,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,361,106	2,095,901
売上原価	811,443	1,173,008
売上総利益	1,549,663	922,893
販売費及び一般管理費	840,442	1,195,577
営業利益又は営業損失(△)	709,220	△272,683
営業外収益		
受取利息	516	183
受取配当金	4,500	6,750
為替差益	—	54,647
その他	890	2,278
営業外収益合計	5,907	63,858
営業外費用		
支払利息	6,244	5,217
為替差損	57,710	—
株式公開費用	110,460	120,872
その他	1,324	20,868
営業外費用合計	175,738	146,958
経常利益又は経常損失(△)	539,390	△355,782
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	539,390	△355,782
法人税等	215,123	△83,009
少数株主損益調整前四半期純利益 又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	324,266	△272,773
少数株主利益	2,754	2,210
四半期純利益又は四半期純損失(△)	321,512	△274,984

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益 又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	324,266	△272,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,316	△25,776
為替換算調整勘定	△6,616	6,508
その他の包括利益合計	△4,300	△19,267
四半期包括利益	319,966	△292,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,212	△294,251
少数株主に係る四半期包括利益	2,754	2,210

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	539,390	△355,782
減価償却費	121,687	210,711
株式公開費用	110,460	120,872
株式交付費	176	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,559	7,594
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,403	739
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,375	—
受取利息及び受取配当金	△5,016	△6,933
支払利息	6,244	5,217
為替差損益(△は益)	56,489	△65,767
売上債権の増減額(△は増加)	120,413	109,371
たな卸資産の増減額(△は増加)	888	△4,170
仕入債務の増減額(△は減少)	13,190	△20,471
未払金の増減額(△は減少)	△13,533	△78,504
その他	△120,197	39,752
小計	789,972	△37,370
利息及び配当金の受取額	5,016	6,933
利息の支払額	△6,244	△5,217
法人税等の支払額	△850,988	△150,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,243	△186,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△367,527	△99,770
無形固定資産の取得による支出	△308,743	△239,501
差入保証金の差入による支出	—	△28,025
その他	6,207	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△670,063	△367,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	320,500	—
長期借入れによる収入	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△60,000	△97,499
株式の発行による収入	—	984,730
配当金の支払額	△145,598	△159,654
株式公開費用の支払額	△117,328	△173,196
その他	△176	△1,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	347,397	552,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,417	33,195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△412,326	32,643
現金及び現金同等物の期首残高	2,410,304	1,195,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,997,978	1,227,786

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,696,757	565,515	98,833	2,361,106	—	2,361,106
セグメント間の内部売上 高又は振替高	264,708	23,143	—	287,851	△287,851	—
計	1,961,465	588,659	98,833	2,648,958	△287,851	2,361,106
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	629,466	83,718	△3,963	709,220	—	709,220

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引消去になります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,093,151	901,802	100,947	2,095,901	—	2,095,901
セグメント間の内部売上 高又は振替高	293,887	23,742	7,115	324,745	△324,745	—
計	1,387,038	925,545	108,063	2,420,647	△324,745	2,095,901
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	△258,250	70,537	△84,970	△272,683	—	△272,683

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引消去になります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

米国ナスダック市場における当社普通株式を原株とする米国預託証券の上場に関連して、平成25年5月21日及び平成25年6月7日を払込期日とする新株式の発行を行っており、発行済株式総数が3,441,136株、資本金及び資本剰余金がそれぞれ492,365千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間末において資本金が1,095,358千円、資本剰余金が882,818千円となっております。

(7) 重要な後発事象

資金の借入

当社は、平成25年9月26日開催の取締役会決議に基づき、以下のとおり資金の借入を実行いたしました。

1. 株式会社三菱東京UFJ銀行との金銭消費貸借契約

- | | |
|-----------|---------------|
| (1) 借入金額 | 2億円 |
| (2) 借入の用途 | 運転資金 |
| (3) 借入先 | 株式会社三菱東京UFJ銀行 |
| (4) 借入実行日 | 平成25年10月25日 |
| (5) 返済期限 | 平成28年10月25日 |
| (6) 借入利率 | 年0.65% |
| (7) 担保の状況 | 無担保 |

2. 日本生命保険相互会社との金銭消費貸借契約

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 借入金額 | 1億円 |
| (2) 借入の用途 | 運転資金 |
| (3) 借入先 | 日本生命保険相互会社 |
| (4) 借入実行日 | 平成25年10月15日 |
| (5) 返済期限 | 平成28年10月31日 |
| (6) 借入利率 | 年0.62% |
| (7) 担保の状況 | 無担保 |